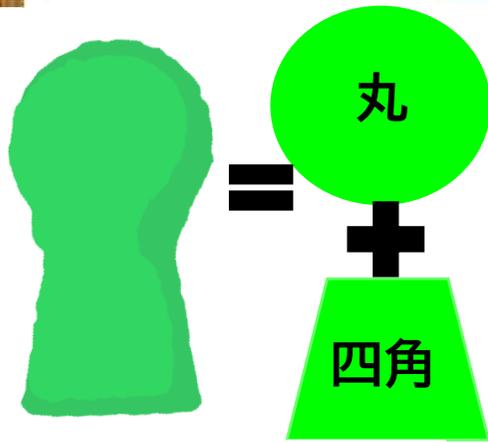


【宝塚1号墳の形、前方後円墳とは…】

宝塚1号墳を上空から撮影したのが下の写真です。宝塚1号墳は、右のイラストのように丸と四角を組み合わせた鍵穴のような形をしています。このような形の古墳を「前方後円墳」と言います。

「前方後円墳」の名付け親は、江戸時代後期の儒学者蒲生君平という人物です。蒲生は、天皇や皇后の墓を調べ歩いていました。天皇の墓の事が書かれた調査書『山陵志』の中で初めて「前方後円」という名称を使っています。蒲生は、この形の四角い部分を引き棒、丸い部分は天皇を乗せる宮車と見立てました。引き棒の方が先頭となるため、前が四角、後ろが円としています。「方」とはどういう意味なのか?という質問もよくいただきます。正方形や長方形という言葉を知ると、「方」が四角という意味だとわかります。



前方後円墳の形

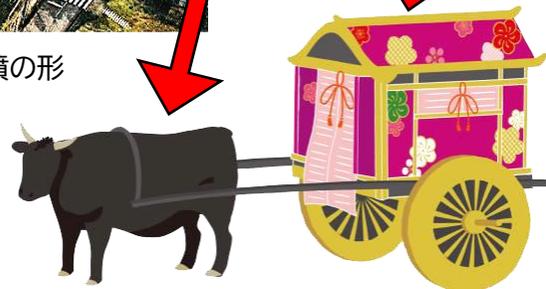


宝塚1号墳全景 2006年撮影 □:古墳の形

前方 後円 墳

前 後ろ

江戸時代の蒲生君平は、宮車に見立てましたが、みなさんは何に見えますか? (担当)

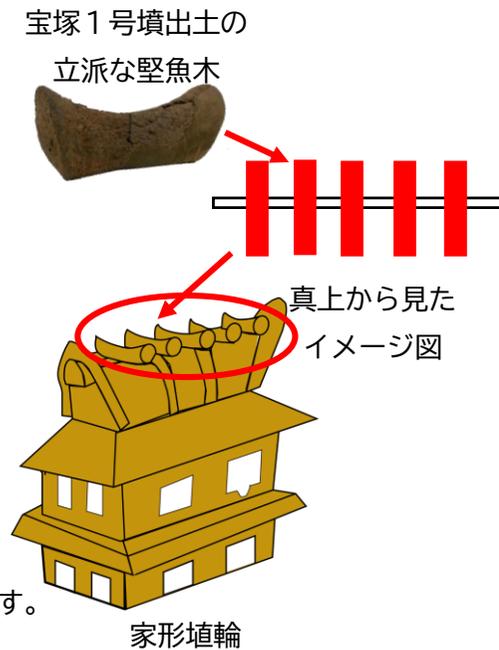


宮車のイメージ図

【12月 家形埴輪】 ~所長からひと言~

家形埴輪は、まさに家の形をした埴輪です。もう少し詳しく言えば、亡くなった人が生前何らかの関係をもっていたと思われる家を焼き物でかたどったものです。宝塚1号墳では、王者の家にふさわしいひれ飾りを付けた家形や、王者にのみ許されたとされる家形埴輪の屋根につける堅魚木が出土しています。『古事記』によれば、雄略天皇が野駆けをして河内国(今の大阪府)に来た時、屋根に堅魚木をのせた豪族の家を見て、「豪族の身分でありながら、大王の家に似せるとは無礼者」と怒り、部下に火をかけるよう命じたとあります。

そのような由来のある立派な堅魚木が宝塚1号墳でも出土しています。ただ、残念なことに家全体の形はわかりませんが、宝塚1号墳の主の力を示す例として、貴重な資料となっています。



家形埴輪

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】 入館料110円 ※特別展開催期間(~12月8日)は 入館料200円 18歳以下無料

開館時間9:00~17:00 入館は16:30まで

- 第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 秋季特別展 「王権と首長墓の埴輪」 12月8日(日)まで

【ギャラリー】 入場無料

- 第1G ◆第11回 嬉野フォトクラブ写真展
12月 5日(木)~12月 8日(日) 10時~16時 ※初日は13時から、最終日は15時まで
- 第2・3G ◆三重県立松阪工業高等学校繊維デザイン科 第31回卒業制作展
12月 5日(木)~12月12日(木) 9時~17時 ※最終日は12時まで
- 第1G ◆2024年度 平和教育展
12月21日(土)~12月22日(日) 10時~16時 ※最終日は15時まで

(ご注意ください)
令和7年1月4日(土)に予定していましたが、令和8年1月の「ギャラリーの申し込み抽選会」は、ギャラリー工事のため中止します。

< 12月の休館日 2日(月) 9日(月) 16日(月) 23日(月) 29日(日)

30日(月) 31日(火) >

※ 1月は1月4日(土)から開館します。

【発行】松阪市文化財センター

【☎】0598-26-7330

文化財センターの情報はこちら →

【FAX】0598-26-7374

【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

